

# ビデオ 通信

2019年  
1月31日(木)  
No.4250

月・木曜日発行  
1ヶ月¥11,000(税別)  
発行：飯澤剛 編集：齋藤浩一

**ユニ通信社**

〒106-0047  
東京都港区南麻布5-2-37  
DEPECHE MODE 4F  
TEL：03-5422-7515  
FAX：03-5422-7516  
E-mail：vt@uni-press.net

アストロデザイン

## 「8K映像制作ワークフロー」の提案を強化

本社内に「8Kシアター」オープン、8K機材や8K編集室などのレンタルも展開

アストロデザイン(株)はこのほど、8K映像／22.2ch音声による上映に対応した「8Kシアター」(写真→)を、東京・大田区南雪谷の本社内に正式オープンした。同社では8Kコンテンツ制作支援の一環として8K機材および8K編集室の「8Kレンタルプログラム」を2018年6月から展開しているが、さらなる8Kの普及を目指し、今回、8K/120pや8K/3Dに対応した8Kレーザープロジェクターと8Kレコーダー、170インチスクリーンおよび22.2ch立体音響システムで構成する「8Kシアター」を開設。編集中のコンテンツを実際の上映に近い環境で即座に確認しながら制作を進めることができる。同社では撮影・収録～編集～上映に至る「8Kトータルワークフロー」の提案を、放送だけでなく幅広い領域に対して推進していく考え。



## ハイビジョン放送以前から8K関連機器を開発



8Kシアターのエントランス

アストロデザインは、1977年に電子機器の設計開発会社として設立。世界に先駆けたプログラマブルビデオ信号発生器をはじめ、数多くの画像処理関連機器を開発してきた。その技術力を評価され、1985年には日本放送協会(NHK)の依頼でHD関連機器の開発を開始した。また、8K映像機器については2000年頃から開発に携わっており、現在、撮影／収録／編集／伝送／符号化から表示装置まで、8K制作に求められる技術や機材の

ほぼ全てに対応しているという。

企画部 部長の金村達宣氏は「くまだハイビジョン放送も始まっていない時代に、ハイビジョンの16倍、32倍という高速処理を必要とする「8K」に求められる技術やデバイスに対する課題解決には非常に困難を極めました。現在では8Kに関する幅広い技術や経験を蓄積できています」とする。

## 8K 普及には“観てもらふこと”が重要

同社では、既に「8K 編集室」のほか、8K 機材を揃えた「ショールーム」を有し、2018年6月には「8K レンタルプログラム」を開始しているが、2018年12月に「8K シアター」を正式オープンした。

同シアターは、同社が内部回路を開発した 8K レーザープロジェクター「INSIGHT Laser 8K Imaging by ASTRO」（英国デジタルプロジェクション社）と、同社製の 8K SSD レコーダー「HR-7518-A」および 170 インチスクリーンが装備されており、120p までの 8K 映像が上映できる。また、プロジェクターが秒間 120 フレームに対応しているため、通常の秒間 60 フレームの映像を左右交互に出力することで 8K/3D 映像の上映も可能だという。なお、設計・施工・システムインテグレーターはアストロデザインが自社で行い、日本音響エンジニアリング㈱など様々な企業が協力している。

「8K シアター」を開設した狙いについて、金村氏は「一言で言えば「8K の普及」です。8K の良さを最もわかっていただくには、まず観ていただくことから始めるのが一番です。プロジェクター & 大型スクリーンで 8K 映像をじっくり観ていただいた後で、8K 編集室やショールームにご案内して、8K 映像制作ワークフローを紹介する。それによって 8K 映像制作をより明確にイメージしていただき、「それぞれのビジネスとどのように結びつけるか」という具体的な話に近づくと考えました。もちろん、クライアント向けのデモやプレビュー、上映会などにも活用できます」とする。

## トータルな「8K 映像制作ワークフロー」

「8K レンタルプログラム」に、今回の「8K シアター」が加わったことで、同社ではよりトータルな「8K 映像制作ワークフロー」を提案できるようになった。



8K 編集のソフトには EDIUS を採用(上)  
／8K カメラショールーム(下)

同社では、8K 映像制作をより快適なものとするため、撮影から上映に至るまで一貫したファイルベースによるフローを提唱している。快適かつ高品位な映像制作環境を実現するため、▽一次素材として実用に堪える高品質の圧縮技術 ▽リアルタイム 8K 収録装置の実現 ▽快適な編集環境の担保 ―などを考慮して開発を進め、このワークフローを確立させた。特に Glass Valley HQX コーデックを採用した 8K レコーダー「HD-7518/HD-7518-A」の開発では、記録メディアや操作性の見直しなどにより、8K 映像制作のスピードと効率を飛躍的に向上させたという。

ワークフローでは、核となるメディアとしてフルスペック 8K 対応 8K SSD パック「MM-210/MM-210-1」を使用し、8K カムコーダー「8C-B60A」（シャープ）や 8K カメラヘッド「AH-4801」（アストロデザイン）などで 8K 映像を撮影。「HDWS-8K(EDIUS)」（グラスバレー）+ 8K モニター



8K プロジェクター(上)と映像系・音響系の送出システム(下)

### 「8K レンタルプログラム」の常設 8K 設備・機材

【8K シアター】▽プロジェクター：INSIGHT Laser 8K Imaging by ASTRO (デジタルプロジェクション) ▽再生装置：HR-7518-A (アストロデザイン) ▽コンバーター：SC-8221 (同) ▽スクリーンサイズ：170 インチ

【8K 編集室】▽メイン編集機：HDWS-8K (グラスバレー / 6TB SSD / Edius9.2 / Astra)、HB-7517 (アストロデザイン / DataIngest / Export)

▽サブ編集機：7047GR-TRF (Supermicro / 10TB HDD / Adobe CC / DaVinci Resolve)

【8K ショールーム】▽8K カメラ：AH-4801-B (アストロデザイン) ▽8K モニター：DM-3814 (同) ▽8K レコーダー：HR-7512 (同) 他

なお、全ての設備利用は完全予約制となっている。問い合わせは同社 事業本部 営業 (TEL03-5734-6301 / FAX03-5734-6104 <https://www.astrodesign.co.jp/contact.html>) まで。

を用いて 8K 編集を行い、8K レーザープロジェクター「INSIGHT Laser 8K Imaging by ASTRO」+ 8K レコーダー「HR-7518-A」で試写および上映を行う。また、8K カムコーダーが同時生成するプロキシ映像 (HD 画質) によってオフライン編集を行い、その EDL で 8K 編集を行うなど、通常の HD や 4K と同様のフローが可能となっている。なお、1 月 18 日に医療シンポジウムで特別上映された 8K 版『からだの中の宇宙』(制作：ヨネ・プロダクション) では、顕微鏡撮影はカイロス社の 8K カメラを使用、同ワークフローによって 8K 制作されたという。

### 幅広いアプリケーション領域に「8K 映像制作」を提案

同社では今後、幅広い領域に向けた 8K 映像制作の営業活動に注力していく。金村氏は「これまででは NHK という強力なお客様がいたので、ある意味では受け身で様々な案件をいただくことができましたが、今後は放送以外の分野における 8K 活用を推進すべく、自ら幅広い領域に働きかけていかねばなりません。裾野が非常に広いので、様々な可能性があると考えています」と語る。

同社は「8K シアター」を含む「8K レンタルプログラム」を駆使した「8K 映像制作ワークフロー」の提案をさらに強化するとともに、新たにパンフレット『8K unveils reality ~ 8K で目覚める、新しい世界~』を作成し、様々な産業分野に対して 8K を訴求している。

このパンフは、あえて製品を全面に出すのではなく、医療のほか、ライブビューイング、リモートミーティング、ファサード (ホテルやオフィスのエントランスでの活用)、シミュレーション、サイエンス、コスメティクス、データ解析、文化財アーカイビング、e スポーツ、建設、館内共聴など、様々な領域における“8K の可能性”を訴求している。



金村達宣氏

金村氏は「世の中では「4K・8K」と一括りで言われますが、当社では 4K と 8K は全くの別ものだと認識しており、「8K の圧倒的な情報の量と質を十分活かせるアプリケーションは何か？」という方向性で考えています。特に、情報の「質」という面では、これまで見えなかったものが、8K によって見えてくる。その意味で、人間の顔のアップを映し出すことは 8K では不向きだと考えていたのですが、8K 版『からだの中の宇宙』で映し出された浅香時夫先生の顔が芸術的に表現されているのに驚きました。また、大型映像の領域では、2020 年に向けて各都市にパブリックビューイング会場が設置され、500 ~ 600 インチの超大型スクリーンにより“8K によるオリンピックやパラリンピック”が各所で楽しめるのではないかと思います。さらに、BS8K で放送された 8K 版『2001 年宇宙の旅』が国内外で大きな反響を呼びました。膨大な情報量などの課題は多いですが、これからは“8K による映画制作”にも様々な動きが出てくるのではないかと期待しています」と話している。

◇アストロデザイン <https://www.astrodesign.co.jp/>

東京都大田区南雪谷 1-5-2 TEL03-5734-6300